

発行：家族関係学部会事務局
<http://kazokukankeigaku.jp>

新部会長の李璟媛です。どうぞよろしくお願いいたします。

10月29日・30日に開催されました第42回家族関係学セミナーは、対面とオンラインによるハイブリット形式で行われました。二日間の延べ参加人数は、約150名で、そのうち対面参加者が63名、オンライン参加者が83名でした。セミナー実行委員長をはじめ実行委員のみなさまには、多大なご負担をおかけすることになりましたが、対面とオンラインで活発な討論が交わされ、充実したセミナーになったと思っております。

今年度の公開シンポジウムのテーマは「ポストコロナ時代の家族」でした。特に今年は、コロナ禍における移動制限などによって延期されていた韓国家族関係学会との国際学術交流も行われました。韓国からは、崔喜晶先生、閔周泓先生、呉承恩先生がオンラインによる参加で、報告され、日本では、小川真理子先生、杉井潤子先生が報告されました。コロナ禍での家族の変化などを含む状況を確認し、ポストコロナ社会における家族関係学の方向性や家族研究の課題について討論するとともに、日本と韓国の動向等の情報を共有することができました。

シンポジストのみなさま、研究企画・進行して下さったみなさまにこの場をお借りして深くお礼申し上げます。

部会は、会員のみなさまと、部会のさまざまなお仕事を引き受けてくださっている役員のみなさまのご尽力のお陰で運営されています。今までの成果を受け継ぎ、部会の運営に邁進していきたいと考えております。引き続きご支援・ご協力のほど、お願い申し上げます。

(部会長 李 璟媛)

*** I N D E X ***

- 新役員会発足の報告
- 2022年度総会議事録（概要版）について
- 第43回家族関係学セミナーについて
- 『家族関係学』のJ-STAGE 登載による電子ジャーナルの著作権について
- 『家族関係学』投稿論文の募集・新刊紹介情報提供のお願い
- 2022年度年年会納入について
- 事務局からのお知らせとお願い

■ 新役員会発足のご報告—新役員会会務分掌— 部会長 李 璟媛

2022年10月～2024年10月までの役員会の会務分掌は下記の通りとなります。

[下線は部会長委嘱役員]

部会長：李 璟媛

庶務：【会員管理】山下美紀・【文書管理・広報】大石美佳

会計：森田美佐

編集：表真美（委員長）・石井クンツ昌子・磯部香・井上清美・大風薫・
蟹江教子・佐藤裕紀子・藤崎宏子

セミナー：岡部千鶴（2023年度実行委員長）・石井クンツ昌子・井上清美・
大風薫・蟹江教子・坂本有芳・佐藤裕紀子

研究活動企画：・安藤究・磯部香・坂本有芳・藤崎宏子

海外学術交流：安藤究

監事：1区 久保桂子 2区 松岡悦子

（セミナーに関する詳細につきましては、時期を改めてお知らせいたします。）

■ 2022年度総会議事録(概要版)について 部会長 李 璟媛

2022年10月29日開催した総会の議事録(概要版)を部会ホームページに掲載いたしました。下記URLよりご確認ください。

<http://kazokukankeigaku.jp/contents/Minutes.html>

■ 第43回家族関係学セミナーについて セミナー実行委員長 岡部千鶴

第43回家族関係学セミナーは、徳島文理大学にて開催いたします。

2023年10月の開催を予定しておりますが、日程及び開催方法等については、今後のニューズレターでお知らせいたします。また、シンポジウムの内容、セミナー参加募集、自由報告の募集などのご案内は、2023年5月頃を予定しております。多くの皆さまの参加、報告をお願いいたします。

■ 『家族関係学』のJ-STAGE掲載による電子ジャーナル版の著作権について

部会長 李 璟媛
編集委員会 表 真美

● 『家族関係学』誌のJ-STAGE掲載は、今年度中に『家族関係学』No.41、およびNo.29、来年度もバックナンバーの掲載を順次進めて行く予定です。既に昨年度のメールマガジンにおいて、No.29～25の執筆者の方に、著作権の本部会への帰属をご承諾頂きました。

そこで、今年度J-STAGE掲載予定の『家族関係学』No.41、来年度以降掲載予定の『家族関係学』No.24～20の執筆者の皆さまに、印刷冊子体の『家族関係学』と同様に、J-STAGE掲載の電子ジャーナル版『家族関係学』の著作権についても本部会に帰属することをご承諾いただきたいと思います。と存じます。

● J-STAGEに今後掲載予定の『家族関係学』No.24～20における論文、研究ノート、書評、文献紹介、特集、政策動向、報告、およびその他を執筆された部会員で、上記の件をご承諾いただけない方は、2月28日（火）までに下記にご連絡ください。ご承諾いただける方の連絡は必要ございません。ご質問などがある方も下記にお問い合わせください。

<ご承諾いただけない場合の連絡先>

inquiry★kazokukankeigaku.jp（家族関係学部会事務局）

※上記の★を@に置き換えてください。

■ 『家族関係学』投稿論文の募集・新刊紹介情報提供のお願い

編集委員会 表 真美

● 『家族関係学』投稿論文の募集

『家族関係学』No. 42 への投稿原稿を募集いたします。多くの会員のみなさまから力作が寄せられますことを期待しています。投稿締め切りは2022年3月31日（金）24時となります。投稿規定・執筆要項は、部会ホームページをご確認ください。

● 新刊書情報提供のお願い

部会員が執筆に関わった書籍や文献の情報をお寄せ下さい。著者・編者名、書名、出版社、出版年月、税込価格を記して、下記までご連絡ください。

編集委員会 E-mail: edit★kazokukankeigaku.jp

※上記の★を@に置き換えてください。

■ 2022年度年会費の納入のお願い 会計担当 森田美佐

2022年度の年会費および過年度会費未納分の納入期限を過ぎておりますが、未だ入金を確認できていない会員の方がいらっしゃいます。ご確認の上、至急振込の手続きをお願いいたします。また、学生会員として2022年度会費の入金を希望される方は、学生証の写しを家族関係学部会事務局まで、郵送、画像のメール添付のいずれかの方法でお送りください。所定の手続きを行わずに学生会員の年会費を入金されても、学生会員として認められません。

ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

○年会費振込先：（郵便振替）00310-6-30229 家族関係学部会
〒780-8520 高知市曙町2-5-1 高知大学 森田美佐

Tel：088-844-8421

E-mail：inquiry★kazokukankeigaku.jp（家族関係学部会事務局）

※上記の★を@に置き換えてください。

■ 事務局からのお知らせとお願い

事務局 山下美紀

●家族関係学部会では、メーリングリストやホームページでの情報発信を進めております。住所、E-mail アドレス、所属先等を変更された場合、またメルマガを受信できていないとお気づきの際は、お手数ですが家族関係学部会事務局までご連絡ください。

●本メルマガへのお問い合わせは家族関係学部会事務局までお願いいたします。

<家族関係学部会事務局>

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学 山下美紀

Tel：086-252-2142 Fax：086-252-5145

E-mail : inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

※上記の★を@に置き換えてください。

【発行・編集】 家族関係学部会事務局